


氏名:	妹尾 浩	
所属先:	京都大学大学院医学研究科 消化器内科学	
Email:	seno@kuhp.kyoto-u.ac.jp	
最終学位:	京都大学博士 (医学)	
略歴:	1991 京都大学医学部卒 2001 京都大学大学院医学研究科 修了 2005 米国ワシントン大学医学部研究員 2008 京都大学大学院医学研究科 消化器内科学 講師 2015 京都大学大学院医学研究科 消化器内科学 教授	
研究分野:	消化器病学、腫瘍生物学	

がん組織における「幹細胞」の振る舞い

妹尾浩¹, 福田晃久¹

¹ 京都大学大学院医学研究科 消化器内科学

生体の正常組織と同様に、がん組織にも幹細胞（がん幹細胞）が存在し、子孫がん細胞を供給することが示唆されています。がん幹細胞は細胞分裂に乏しく、抗がん剤などの治療が効きにくいことから、がんの治療抵抗性の原因のひとつと考えられています。私たちは、がん幹細胞から子孫がん細胞が供給され、短い期間でがん組織を形作る過程を生体内外で観察できる大腸がん、膵がんモデルを作りました。また、それらのモデルでは、がん幹細胞を排除することによってがん組織が縮小するため、がん幹細胞を標的とする新しい治療法開発を考えています。

その一方、細胞分裂に乏しいがん幹細胞が、なぜ短い期間に子孫がん細胞を大量に供給してがん組織を形作ることができるのかは、十分に分かっていません。また近年の研究では、がん組織のなかで子孫がん細胞が先祖返りをするようにがん幹細胞化することも報告されています。これらの過程を目に見える形でご提示し、がん幹細胞の振る舞いとがん組織の増大、縮小の過程をどのように定量化できるか、そこからどのように研究を発展させていけば良いか、ご教示を仰ぎたいと考えています。